

■アート・クラフト学科カリキュラムの特色

アート・クラフト学科では、絶えず変化し複雑化する現代社会に対応しうる広い見識と個性的な創造力を有する美術家や工芸家、あるいは教育者を養成するための多彩なカリキュラムを設置し、教育を行っています。

■ディプロマポリシー（学位授与の方針）

美術と工芸のモノづくりを基盤とし、オリジナリティのある表現、美術教育ではグループで行う協働の方法を身につけ、発信力があり創造性を有したと認めた者に学士（芸術工学）を授与する。

■カリキュラムポリシー

アート・クラフト学科では、現代社会において美術と工芸、あるいは美術教育に関する高い識見と技能、創造力と発信力をもつ自立できる美術家や工芸家、教育者を養成するという教育目標達成のため、1) 観察力と発想力、2) 基礎的な技術力、3) 個性的な創造力、4) 展示や情報発信力および協働する力を身につけることができるカリキュラムを設定している。

* コース

- ・ 絵画コース
- ・ フィギュア・彫刻コース
- ・ 美術教育コース
- ・ ガラス・陶芸コース
- ・ ジュエリー・メタルワークコース

* 年次における基本的な学びの流れ

- ・ 1～2年次：文化・芸術としての歴史や知識及び多様な素材や技法を体験することで美術と工芸の基礎的かつ多様な技術と表現の基礎を学ぶ。
- ・ 2年次～ ：文化・芸術としての歴史や知識を深化させるとともに、自分らしさを表現する高度な技術力を学ぶ。また2年次後半から5つのコースに分かれ、各自のテーマを追究する技術力や表現力を磨き、社会で求められる企画力や実践力を修得する。
- ・ 4年次 ：マンツーマンの指導によって高度な技術力を駆使した個性的な作品を完成させるとともに、プレゼンテーション力も身につける。

■カリキュラムフロー図（2020年度入学生用）

	1 年	2 年	3 年	4 年
アート・クラフト学科	1 年の達成目標	2 年の達成目標	3 年の達成目標	4 年の達成目標
○必修・講義（基礎教育科目含む） △選択・講義 ●必修・実習、演習（基礎教育科目含む） ■選択必修・実習、演習 ▽選択・実習、演習 （ ）基礎教育、芸術工学基礎区分科目のうち推奨するもの	前期には美術・工芸の基盤となる知識、文化、社会などの幅広い専門を、後期には加えて技術、感性などを理解する。	分野の基礎的な画材や素材について学び、専門性としての表現力や造形力などの基本的な技術について理解できる。	専門コースにおいて造形力を養い、課題発見やテーマを設定して個々の創造力が身につく他にマネジメントも経験する。	より専門性の高い技能と表現力を習得するだけでなく社会との関係性を踏まえた多様な事柄を知って自己確立できる。
知識・コミュニケーション	知識（思想・歴史・経済・視知覚・心理等） 科学・技術・人間工学一般 倫理力（大学人としての基礎的な倫理） 文章力・コミュニケーション力 語学力（日本語・外国語） 方法論（材料・色彩計画等） 思考力（論理・論述・発想等） 批判力・客観的理解力 一般的調査・分析・評価方法 健康・体力 その他	○アート・クラフト概論（芸術工学概論） (大学入門セミナー) (○基礎英語Ⅰ ○日本語表現Ⅰ) ●美術基礎実習 ●クラフト基礎実習 ▽美術工芸教育論	△工芸史（現代美術） △模型・フィギュア造形論 ▽美術工芸教育論	
専門的技術	観察力（色彩・形） 表現力（描画・作図・撮影等） 造形力（造作・造形・モデリング等） 技術力（加工・工房作業等） 課題発見・テーマ設定力 調査・実験・分析 コンピュータソフト作業力 コンピュータプログラミング力 メディア・ネットワーク力 その他	■美術実習A ●スケッチ素描・イメージ ▽ドローイング ▽彫刻基礎 ■クラフト実習A	■美術実習B ■絵画演習A ▽日本画技法 ■クラフト実習B ○フィギア技法 ▽陶表現 ■フィギュア・彫刻演習A ■ガラス・陶磁器演習A ■ジュエリー・メタルワーク演習A ▽版画表現 ▽吹きガラス表現	■フィギュア・彫刻演習B ■ガラス・陶磁器演習B ■絵画演習B ■ジュエリー・メタルワーク演習B ▽スチンドグラス演習 ▽ジュエリー技法 ▽釉薬技法演習 ▽金属造形演習
汎用的能力	計画力 問題解決力 創造力（作品や研究自体の独創性） プレゼンテーション・展示・情報発信力 協働力 技術的統合力 多様な個性への対応力 社会的実践力 他分野総合力 その他	■美術教育演習A ▽フィギュア表現 ▽宝飾表現	■美術教育演習B ■絵画演習C ■ジュエリー・メタルワーク演習C ■フィギュア・彫刻演習C ▽メディア演習 ■美術教育演習B ■ガラス・陶磁器演習C	●卒業研究 ■美術特別演習 ■クラフト特別演習
社会対応力	マネジメント力 指導力（グループ作業・ワークショップ） 管理力（作業工程・保全管理・予算等） 社会実践力（プロジェクトなど） 危機管理・法的課題対応力 開発力（新しい分野を開拓する力） 国際性（留学・国際共同・国際発表等） 進路計画力		■美術教育演習C	